

環境デザイン学専攻	研究分野	交通・防災まちづくり	Lab. ID ED09
研究室Webサイト	http://webserv.ce.t.kanazawa-u.ac.jp/takayama/		
研究課題の概要			
<p>・3次救急医療・救急搬送の高度化ならびにドクターヘリ・ドクターカーの導入評価に関する研究 地方都市においては、3次救急医療のサービスレベルの地域格差が大きい。本研究では、3次救急搬送を対象とした医療情報デジタル伝送システムの最適化ならびにドクターヘリ・ドクターカーの最適導入地域の検討を行っている。</p> <p>・ビックデータを活用した観光地評価とクルーズ観光に関する研究 twitterに着目し、莫大な数の観光中のつぶやき(「旅のつぶやき」)データを収集し、観光地の評価を行う手法を開発している。さらに、クルーズ旅客を対象にGPSやライフログカメラを用いて観光客の訪問地・移動経路・昼食のメニュー・お土産の種類など「おもてなし」をさらに向上させるための要因分析を行っている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>・ゼミ 週2回のゼミ発表を通じて、研究の進捗が今後の方針を議論する。</p> <p>・学会活動 修士論文・卒業論文の成果を国内外の各種学会で発表する。 土木学会、土木計画学研究委員会、交通工学研究会、日本都市計画学会、日本地震工学会、自然災害学会、EASTS, USMCA</p>			
研究室生活の紹介等			
4月に研究室配属が決定すると、研究テーマ決め、歓迎会を兼ねた春合宿が開催される。6月には、土木計画学研究発表会(春大会)があり、研究室から数名が参加して研究発表を行う。8月には卒業研究・修士論文の中間発表会が行われ、その後、夏合宿が開催される。9月には土木学会全国大会、10月には、日本地震工学会、地震工学研究発表会、USMCA、11月には、土木計画学研究発表会(秋大会)が開催され、学会シーズンとともに忙しい研究室生活を過ごすことになる。12月には忘年会が開催される。以降、最終発表会に向けて研究の追い込みに入る。			
教員からのメッセージ			
交通・防災まちづくり研究室では、交通(自動車・新幹線・飛行機・クルーズ)・地域公共交通・救急医療・観光・防災・ビックデータを研究対象に幅広い研究を行っています。研究室配属後は学部で学んだ知識に加えて、様々な分析方法、データ取得方法、GIS、交通流シミュレーションソフトなどの勉強をしながら、研究を進めていきます。また、災害が起きると現場に向かい被災地の被害調査を実施するなど、現場に軸足を置く研究も行っていきます。			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2021.3	センシングデータを活用した橋梁点検の効率化に関する研究		
2021.3	ファジィ制御理論を用いた交通信号機制御に関する研究(金沢市内の道路を対象として)		
2021.3	中心市街地活性化方策のための市民の行動特性把握手法に関する研究—金沢市中心市街地を対象として—		
2021.3	時系列データを用いた大規模水害時の避難意識に関する研究		
2021.3	大型クルーズの寄港地観光実態とコロナ禍の観光意識に関する研究		
2021.3	センシングデータを活用した橋梁点検の効率化に関する研究		
2021.3	ファジィ制御理論を用いた交通信号機制御に関する研究(金沢市内の道路を対象として)		
2021.3	中心市街地活性化方策のための市民の行動特性把握手法に関する研究—金沢市中心市街地を対象として—		
2021.3	時系列データを用いた大規模水害時の避難意識に関する研究		
2021.3	大型クルーズの寄港地観光実態とコロナ禍の観光意識に関する研究		
2021.3	センシングデータを活用した橋梁点検の効率化に関する研究		
2021.3	ファジィ制御理論を用いた交通信号機制御に関する研究(金沢市内の道路を対象として)		
2021.3	中心市街地活性化方策のための市民の行動特性把握手法に関する研究—金沢市中心市街地を対象として—		
2021.3	時系列データを用いた大規模水害時の避難意識に関する研究		
2021.3	大型クルーズの寄港地観光実態とコロナ禍の観光意識に関する研究		
2020.3	高齢者の身体機能と通院に着目したバス路線評価モデルの構築～国民健康保険データベースを活用して～		
2020.3	救急搬送データを活用した3次救急医療・救急搬送の高度化に関する研究		
2020.3	国民健康保険データベースを用いた災害時配慮者の避難行動に関する研究		

2020.3	緊急時・急病時における外国人対応の実態分析に関する研究
2020.3	道路除雪における事業者別作業区分の策定方法に関する研究
2020.3	航空利用率低い地域における航空需要喚起施策に関する研究 北陸新幹線新架延伸開業地域を以て、石川県を対象として
2020.3	ドライビングシミュレータを用いた高速道路における規制区間による標識設置枚数の削減可能性に関する研究
2019.3	大型クルーズ船客を対象とした満足度・動態・消費額に関する研究
2019.3	国民健康保険データベースを活用した健康まちづくり方策に関する研究
2019.3	シミュレーションを活用した新交通システムの導入可能性評価に関する研究—金沢市を対象として
2019.3	土木分野における小型無人航空機(ドローン)の利活用に関する研究
2019.3	医療ビッグデータを活用した災害時要配慮者支援に関する研究
2018.3	北陸新幹線開業後の交通手段の変化と交通モード選択要因に関する研究
2018.3	自律型自動運転自動車の都市特性を考慮した交通流への影響に関する研究
2018.3	国民健康保険データベースを用いた高額医療費疾患の発症要因と地域特性との関係性に関する研究
2018.3	我が国のクルーズ観光の振興に向けた旅行需要に対する戦略的マーケティングに関する研究
2018.3	大規模災害時における地域の食料の活用による自助・共助の可能性に関する研究
2018.3	橋梁の定期点検データを活用した戦略的な維持管理計画手法に関する研究
2017.3	北陸新幹線開業前後における観光動態分析～和倉温泉・七尾地域を対象として～
2017.3	動態・消費・満足度から見るインバウンド観光の実態と展望—石川県金沢市を対象として—
2017.3	石川県におけるドクターヘリの導入効果分析に関する研究～平常時・大規模地震時に着目して～
2017.3	大規模土石流災害の発生を想定した住民の避難行動解析—平成の鳶崩れを対象として—
2016.3	原発周辺地域を対象とした大規模避難計画の策定支援と交通マイクロシミュレーションを用いた計画評価に関する研究
2015.3	半島過疎地域における地域生活交通の実態と地域連携方策に関する調査研究
2014.3	東日本大震災発生時における救急医療・救急搬送の実態とその課題に関する実証的研究
2014.3	全国自転車通行環境整備モデル事業の整備効果と周辺地区への波及効果・影響に関する調査研究
2013.3	市町村合併の合併形態の違いによる地域公共交通活性化の取り組み実態とその課題に関する調査研究
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目	
修了年月	タイトル
2021.3	道路交通の実務におけるプローブデータ活用の実践に関する研究
2021.3	戦略的な維持管理の実現に向けた橋梁のリアルタイム遠隔点検支援システムに関する研究
2021.3	道路交通の実務におけるプローブデータ活用の実践に関する研究
2021.3	戦略的な維持管理の実現に向けた橋梁のリアルタイム遠隔点検支援システムに関する研究
2021.3	道路交通の実務におけるプローブデータ活用の実践に関する研究
2021.3	戦略的な維持管理の実現に向けた橋梁のリアルタイム遠隔点検支援システムに関する研究
2020.9	自治体と大学の連携による総合的な社会課題解決と異分野融合研究の実践
2020.3	災害危険箇所に着目した道路の災害リスク評価に関する研究
2016.3	Disaster Risk Analysis of the Emergency Transportation Road for Large-scale Disasters in Japan (大規模災害を対象とした緊急輸送道路の災害リスク分析)
2016.3	歩行者回遊行動に着目した地方都市における中心市街地活性化策の評価・分析～長野市中心市街地を対象として～
2016.3	指定都市・中核市・特例市を対象とした駅前広場に関する計画論的研究
2015.3	市町村の広域連携による総合的な地域公共交通の政策立案及び実践のプロセスに関する研究
2014.3	突発的な自然災害による交通渋滞等の道路交通への影響とその対策に関する研究
研究室連絡先メールアドレス	高山純一 <takayama@staff.kanazawa-u.ac.jp>